令和 6 年度 第 2 回瑞浪市教育委員会点検評価委員会（要点筆記）

日時：令和 6 年 5 月 29 日（木）13：30～15：50

場所：市役所 4 階 全員協議会室

出席者

委員 浅沼克郎、正村京司、鰐部実、伊藤孝一、北原譲介、西尾正代

事務局 事務局長、教育総務課長、総務係（2名）

説明者 学校教育課教育推進係長、学校教育課家庭教育係長、生涯学習課長、

生涯学習課生涯学習推進係長、生涯学習課文化芸術振興係長、

スポーツ文化課長、スポーツ文化課歴史文化係長、スポーツ文化課スポーツ推進係長

1 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。昨日の会議は出席できず申し訳ありませんでした。

始めに点検評価委員会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

また、昨日の会議では熱心にそれぞれのお立場からご意見をいただけたと聞いております。ありがとうございました。

今年度、小学校5年生、中学校2年生を対象に4月ですが、市独自に「学力学習状況調査」というものを実施しました。その結果を一部ですがご紹介します。

「自分にはよいところがある。」と回答した小5、中2の子供たちが90%以上でした。昨年度もそれくらいの割合で答えており、大変うれしいことだと思っています。

同時に、「将来の夢や目標をもっていますか。」という問いに対しては、小5は90%、中2では70%ほどの子どもたちが「はい」と答えています。

さらに、「人が困っているときに、進んで助けたりしますか。」という問いに対しては、「はい」が小5、中2ともに95%を超えているような状況です。

こういう結果が出ていることに対しては、これまでの地域との連携や学校での教育、家庭でのあり方などが大きく影響し、高い結果につながったものと感謝をしているところです。しかし、逆に5%ほどの方が逆の回答をしていると思うと寂しい気持ちにもなります。

瑞浪市教育委員会としては、みんなが気持ちよく、将来の夢を持って、自分や地域に誇りを持って歩んでいける、そんな子どもたちになって欲しいということで、いろんな事業を展開してきております。

今年度から令和10年までは、第2期瑞浪市教育振興基本計画を進めているところですが、昨日、本日の点検評価委員の皆様のご意見を、子どもたちのより良い成長にぜひ反映させていただき、教育を進めていきたいと思っております。

ぜひ本日もそれぞれのお立場から率直なご意見をいただき、充実した委員会となることを願っております。よろしくお願いいたします。

2 議 事

令和5年度(4年度事業)みずなみ教育プラン・後期計画の施策の評価について

【前回の質問への回答】

係長	<p>基本目標 1、施策 1「幼保一体化における就学前教育の充実」でご質問がありました幼小中の連携を深めるにあたり幼稚園の負担は大きくなっていないかについては、園の評議委員会の日に合わせて交流を行う等の工夫をして負担にならないようにしています。</p> <p>家庭教育学習リーダー研修の交流内容については、地域と連携した畑づくりや他の幼稚園の小中と連携した親子の触れ合いを深めるPTAを巻き込んだ取組等について交流され、他の園の先生方も自分の園でも少し形を変えれば可能なのではないかという声が上がっていました。</p>
係長	<p>施策 4「たくましく生きる基本を育てる就学前教育・学校教育の推進」について、いじめと早期対応が必要な事案に対する個別教育相談実施率に関わって、相談件数についてご質問がありました。昨年度、いじめを受けた後で学級担任等に相談をした件数につきましては、小学校 42 件、中学校 31 件の合計 73 件です。</p>

【基本目標3】 スポーツ文化課スポーツ推進係長説明

施策 1	スポーツの場の充実
委員	<p>中間の見直しの時点で、大きく課題になっていたことが、既存のスポーツ施設の有効活用をいかに行っていくかということであったと思いますが、取組や達成度について聞かせてください。</p>
係長	<p>今回市民体育館の改修工事を行うに当たり、施設を集約化していくところで、日吉のスポーツ施設の耐用年数が令和 9 年から 18 年に到達しますので、それを少し前倒しにして、市民体育館のほうに集約しようということになりました。学校施設環境改善交付金とは別に交付税措置率のよい起債が受けられるということで、施設を集約化というところに昨年は取組をさせていただきました。日吉のスポーツ施設は令和 9 年度までご利用いただき、10 年度から廃止という形になりますので、地元への説明などを行わせていただきました。</p>

委員	体育館の改修で、エアコンが入っていないので、熱中症が心配という声を耳にしますが、それは予算的なことなのか何か教えていただきたいです。
係長	予算的なこともありますし、この改修を行いまして、今後 20 年使えるような施設にするということで、よりよくするというよりも悪くなったものに手をかけて戻すよう防水や照明を更新させていただきます。空調についての検討もし、多治見市にもお聞きしましたが、コストがすごく高くなり、料金にも反映されてしまいますので、競技施設の空調に関しては見送らせていただきました。会議室等については空調がありますので、修繕のできないものは取り替えで更新をさせていただいています。
評価	委員会評価 A
施策2	スポーツの機会の充実と魅力の発信
委員	グローアップ教室の代わりにスナッグゴルフを依頼したということですか。
係長	目的が違いますので代わりというわけではありませんが、スナッグゴルフ体験教室を市民競技場で行うよりゴルフ場で行うほうが申し込みが多く、反響があることから、ゴルフ場での開催にグローアップ教室に費やす時間等を使わせていただきました。
委員	スポーツ教室の参加人数はどのくらいですか。
係長	筋トレ教室 2 日間 8 名、ヨガ教室 2 日間で 24 名、ストレッチ教室 2 日間 10 名、バウンドテニス教室 4 日間 25 名でした。
委員	スポーツ教室についてですが、新たな種目の選定が後期の課題となったと思います。どんな種目が選定されましたか。
係長	姿勢改善をテーマにした教室、ねんりんピックの種目の 3B 体操やバウンドテニス、筋トレの教室などを開催しました。また、スポーツ少年団の指導者向けに指導の方法や柔軟体操を学んでいただくため、トレーナーの方に来ていただきました。
委員	色んな方法で工夫しながら、たくさんの方が参加していただけるようにやってみえろと思いましたが、広報の仕方による参加者の違いについて把握してみえますか。
係長	アンケートを取っていないので、感覚的なものになりますが、社会人の方は広報を見て参加していただけますが、スナッグゴルフ体験教室のような小学生から高齢の方まで対象のものは、広報やホームページに加え、チラシを作ったほうが多くの申込みがありますので、学校からチラシを配っていただいています。チラシの媒体というのは、時代の流れには逆行しますが、広めるためにはまだ必要と考え

	ています。
委員	私もデジタルより、物があつたほうが分かりやすく、飛びつきやすいと思いました。スナックゴルフは、ゴルフ場でやったほうが参加率は高く、場の設定で大分違うと思いました。ほかのものにもそれが通用するのかどうか分かりませんが、何か普及方法の検討はありますか。
係長	今後は保健センターなど開催場所の変更を検討しています。
評価	委員会評価 B
施策3	スポーツ推進委員の活用
委員	スポーツ推進委員は、コミュニティ・スクールの活動に活用させていただくことは可能ですか。
係長	関わり方は地区ごとに違いますが、既に活動している地区もあります。地区ごとに委員さんがいますので、その方にお声かけをいただければと思います。
委員	子どもたちが学校にいる平日に来ていただくことは難しいですか。
係長	委員さんの年齢も違いますので、一度お声がけをいただければいいと思います。
委員	スポーツ推進委員はどういう方になっていて、実際どういう活動していますか。
係長	地区によって違いますが、各地区の体育委員さんや体育協会さんと会議の場で体育の関係のイベントを一緒に企画したり、イベントに携わったりしている方もあります。瑞浪地区ですとスポーツ推進委員が2名おりまして、体育協会さんの支部の中で会議に参加をしています。ほかにも競技の運営で、新年マラソンやウォーキングなどの計画のほうに携わって一緒に何かやったり、町民ソフトバレー大会や野球大会の始まるの前に準備運動でラジオ体操をしたり、運動に携わる、サポート的なことを行っています。 どんな方になってみえるかについては、お子さんの影響でスポーツに興味があつた方もいますし、体育協会や体育委員さんを辞めたときになられるなど、特にどなたかがということはありません。
委員	指名ですか。地域を割り振っていますか。
係長	指名や割り振りではありません。地元の推薦で区長会長に同意をいただいたうえで、市が委嘱します。
委員	何名ですか。
係長	今19名です。
委員	地区の体育本部役員の中にスポーツ推進委員がいるということですか。
係長	重なっている方もいますし、スポーツ推進委員の立場として会議に出ている方もいます。

委員	今行っている活動がスポーツ推進委員本来の活動ですか。スポーツ人口の底辺の拡大というのが目的だと思いますので、今の活動から結びつかないと思います。
係長	本来のレクリエーションスポーツとか色々なスポーツを広めて行くことが大本の活動となっております。しかし、なかなかスポーツ推進委員だけでそのような活動、行事をつくったりできないので、町でやる行事に参加していたり、各地区ではなかなかできないので、みんなで集まって色々な体験会をつくろうということで、ワンバウンドふらばーるバレーやモルックなどのレクリエーションスポーツを広げていこうということで、市の団体として活動している状況です。
委員	スポーツ推進委員の活動は市民にどのように PR していますか。
係長	ホームページなどで活動の様子や体験会の案内などの情報発信をして広めていこうと思っています。 知名度を上げることは課題だと思っています。
委員	スポーツ推進委員の人数が 19 名ということで、5 年前と人数は変わりがないようです。その中で、後期の大きな課題は、若手の推進員を確保していくということで、5 年前は、49 歳以下が 3 名でしたが、若手は増えていっていますか。
係長	今年、年配の方が退任し、平均年齢より若い 40 代、50 代の方に 5 名はいただきました。
評価	委員会評価 B
施策 4	体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携
委員	令和 4 年度のスポーツ少年団の指導者は何名でしたか。
係長	33 名です。
委員	目標を 33 名に設定したというのは、数を増やさないということになっていますが、それでよろしいでしょうか。
係長	これ以上指導者の方が減らないことを目標にして、現状維持という形にしました。
委員	確かに現状維持ですが、職務である以上、これが 35 や 40 にしておいて結果的に現状維持でしたというのは納得できますが、はじめから増やそうとしない目標というのは、いかがなものかなという気がします。
委員	団員数が極端に減って昨年年は 243 名、その前が 272 名、その前も 270 名、その前が 300、令和元年度は 400 台ということで、もう極端に減ってきています。団数も減って野球などは、1 つの地域では組めないで、三つの地域が合わさってチームをつくるという状態です。昨年 14 つのスポーツ少年団登録があり、

	<p>243名、今年は恐らく増えず、1つ減り13になりそうです。そういう中で、当然指導者は、増える見込みがないという点ですが、1つの団で、例えば今2人指導者があるところを3人にするとか4人するとかということは可能ですけれども、なかなか成り手がない現状に多分、事務局は苦労して、こういう目標を設定したと思います。</p>
委員	<p>スポーツ少年団に30年以上、関わっていて、状況も知っていますが、ただ、目標設定である以上、現状維持を目標にするのではなく、やはり2人でも3人でも増やすという心意気をこの目標の中に設定してほしいという思いはあります。</p>
委員	<p>クラブというのは、どういう団体ですか。</p>
係長	<p>中学生のクラブ活動や小学生でも新体操やサッカーなどスポーツ少年団に登録されていない団体です。</p>
委員	<p>いくつで、何人ぐらいですか。</p>
係長	<p>少なくとも小学生を対象にしたもので、剣道、柔道、新体操、サッカーなどがあります。</p> <p>また、瑞浪市のホームページで、中学生クラブや一般の方の活動も紹介しています。</p>
委員	<p>子どもたちのスポーツ環境ということで考えると、スポーツ少年団というのは、半数以下になったと思います。公認の指導者が2名以上いないと登録できないので、実際には、そういう団体でありながら、脱退して、続けているクラブもあります。指導者資格が要らないので、民間のいわゆる塾みたいな形でお金を取って1回幾らという形でやっているクラブが結構たくさんあります。中央公園など毎日、多くの人数ではないですが、10人とか20人単位で利用しています。それはスポ少でもないし、先ほど言ったクラブではないです。そう考えると、瑞浪市の小学生が、どこかに所属をしてスポーツをするっていう環境もかなり広がっているのので、どういうクラブがあって、どの程度の子どもが関わっているのかをつかむべきだと思います。少なくとも市内のスポーツ施設を使うに当たっては申請を出しているはずなので、貸し出す条件にどういうクラブで何人いるのかというようなことを登録してくださいぐらいの制約はかけられると思います。そういったことで把握したところでどれだけその指導が及ぶかということとは分からないですけど、中には心配な指導をしているところもあります。スポ少だったら、結構規制がかかったり、助言ができるので、ある程度いいですが、まるっきり野放図にやれるところが市内のスポーツ施設を使って、しかも瑞浪市の子どもたちを相手にということですので、その辺の対策を考えていただくと心配が多少減ると思います。</p>
委員	<p>確かに昔の指導と変わってこなければならなくなったというのはあります。暴力的</p>

	<p>な言葉も言ったこともあるし、今ではそれが通用しない時代で指導されていると思っています。ただあの指導はないのではないかとということもあつたし、少年団というのは、週に何回しか練習してはいけないなどの規制もあつたり、スポーツ少年団の理念は、その競技を上手になることではなく、スポーツ好きとなる、そして体力の増進というのが最初の理念だったと思うのですが、だんだんそれがスポーツ少年団にも通用してこなくなってしまうのではないかと、いわゆる競技スポーツ化したスポーツ少年団になってしまっていると思うと、スポーツ少年団自体の意義をもう一度、瑞浪市として考えるべきだと思います。</p>
評価	委員会評価 B

【基本目標4】 スポーツ文化課歴史文化係長、生涯学習課文化芸術振興係長説明

施策1	まちぐるみで守る文化財とその活用
委員	文化財の調査・指定等件数で、△なっているのは指定まで至ってないかということですね。
係長	調査は1件ありましたが指定まで至ってないということで、自己評価としては△としています。
委員	指定になりそうですか。
係長	担当者としては文化財指定相当ではないかと考えておりますが、指定するかしないかは、市から文化財審議会に意見の照会をかけ、そこで審議して文化財にふさわしいという答申があれば、市として文化財に指定するという流れになります。
委員	提出されなかったから△にしたという解釈でいいですね。
係長	はい。
評価	委員会評価 A
施策2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
委員	「④博物館等文化施設における生涯学習の振興」と「⑤芸術に触れる機会の充実」について、重点取組事業として目標はよく達成できていますが、取り組み方の特徴や目玉があつたか教えてください。
係長	<p>④番につきまして御説明いたします。</p> <p>来場者につきましては、釜戸町で見つかったパレオパラドキシア化石のクリーニング作業が令和5年度の当初でほぼ終了し、5月の連休明けから年度末まで、ほぼ通年、クリーニングが終了した化石と産状レプリカを化石博物館で展示をしたということで、通常夏休み期間中2か月程をメインにしていた企画展の期</p>

	間がかなり延びたことが増加した 1 番大きな要因かと思います。講座の参加者数については、コロナが終息して、皆さん気軽に講座に参加していただけるような環境があったということで認識をしています。
係長	⑤番につきまして御説明いたします。 美術展の会期中に麗澤瑞浪高校のピアノ部によるピアノコンサートを新たに計画し、実施しました。期間中の目標人数には届きませんでした。ピアノ演奏と美術展の鑑賞ということで、来場者数の増加を狙ったものとなります。 また自主事業につきましては、地元の瑞浪中学校と瑞浪北中学校のブラス部による共演の計画をし、来場者数の増加を狙いました。
委員	消防署前の川原に岩盤が出ていますが、化石はできませんか。なぜ、手を付けていないか不思議です。
係長	そこについては化石担当の学芸員と話したこともありますが、同じ地層でも化石がたくさん出る場所とそうでない場所があるそうです。野外学習地の場所は化石がたくさん含まれているところで、消防署前は全くでないわけではありませんが、かなり少ないらしいです。野外学習地を今の場所に設定したというのは、そういった要因があるのではないかと思います。
委員	昨年、小学校にパレオパラドキシアのレプリカを持ってきて、学芸員が丁寧に説明してくれて、子どもたちが目を輝かせていました。それは学校との連携回数に入っていますか。
係長	入っています。
委員	せっかく瑞浪の宝となるものが出てきて、子どもたちも本当に喜んでいたので、6年間の中で 1 回は講座を聞ける機会を設けてもらえるとさらにいいと思います。
係長	瑞浪北中学校では、全校生徒で学芸員の話聞いていただけということもありました。通常は学年ごと、クラスごとでの出前授業であったり、来館していただいたりですが、今回は全校生徒の方に聞いていただけというのは、初めての試みでありました。 学校でもスケジュール調整等は必要かと思いますが、学校からの要請があれば、もっと積極的に答えていきたいと考えています。
委員	小学校は全部クラスごとで、本当に間近で説明してもらったのが本当によかったので、それぞれの実情に応じてということで、この機会をないまま卒業していくのはもったいないと思いましたので今後ともよろしくお願いします。
委員	中間見直しのときに、学校ニーズの把握や連携が課題でしたが、何か工夫されたことはありますか。
係長	ニーズの把握というところまで至ってないというのが正直なところですが、ここ数

	<p>年は、校長会や教頭会等で、年 2 回程、出前講座や資料の貸出しについて PR しており、そういったところで昔と比べると情報が学校の先生たちに伝わりやすいような形になってきていると認識しています。</p>
評価	委員会評価 A
施策3	文化施設の充実
委員	「③計画的な施設整備」の達成状況で修繕による利用制限なしというのは、修繕があったけれども、利用制限なくできたということですか。
係長	はい。
委員	5年前の中間見直しのときに財源確保が大きな課題でしたが、財源確保はできましたか。
係長	市民公園文化施設の再整備につきましては、施設を集約してなおかつ面積を減らすというようなある程度条件を満たすと交付税で対応してくれる国の制度があります。いつまで続くかということが不透明な状況ではありますが、今のところは財源として検討しているところです。
委員	駅裏の複合施設についての計画は、当初のとおりですか。
係長	はい。
委員	社会教育委員での答申で、複合施設に瑞浪市を PR するようなコーナーを設置できないかというような意見もありました。そんなに大きなコーナーはできないと思いますが、文化財や化石のコーナーを作ることは有効だと思いますので、今後検討していただけるとありがたいと思います。
評価	委員会評価 A
施策4	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
委員	美濃歌舞伎保存会とは相生座のことですか。
係長	はい。
委員	相生座から昨年度建物修復やかつらや着物等の保存のための寄付の依頼がありましたので、古いものを保存しつつ、取り組んで継続していくことは大変だと思いましたが、申請の額と交付できる額はどれくらいですか。
係長	市の指定文化財の保存や後継者育成に対する補助金につきましては、基本、申請があった額の 2 分の 1 を補助するものですが、上限は 500 万円になっておりますので、例えば 1500 万円の事業であれば、上限が 500 万円なので、補助率は下がってしまうということになります。
委員	高額ですね。

係長	建物の修復ということになりますとかなり高額になります。今回市はかつらの新調や修理ということで補助金を交付しましたが、今言われた寄附につきましては恐らく、それとは別で、美濃歌舞伎保存会さんが独自で寄附を募って、建物の雨漏りの修復のほうにあてられていて、この補助金とは別になります。
委員	公演するためにいくらぐらいかかりますか。
係長	市はあくまでもその後継者育成のために、例えば振りつけであったり、三味線のお師匠さんに来ていただいて、その技を教えていただくというように、指導者への謝礼や交通費、あるいは会場使用料といった、基本的には後継者育成に直接関係することを補助の対象にしているもので、公演費用に補助をしているものではないため把握していません。
委員	地域の伝統文化については、少子高齢化で、大きな問題で、今後の見通しは、明るくないと感じています。その中で前々から啓発活動が実施できていないとか、停滞しているとか等の言葉が目立ちますが、現状はどうですか。文化協会を支援することで活性化していくという言葉もありますが、その辺の状況はどうでしょうか。
係長	伝統文化の継承につきましては、やはり子どもたちが減っているというところ、少子高齢化というのは非常に大きな課題だということで認識しています。 特に鶴城の笹踊りというものも子どもの数が減ってきたので、もうやめてしまおうかというような話も地元の方から出ているというような話も耳にしましたが、詳細は把握できておりません。そのような状態にありますので、例えば今までは鶴城の子どもたちだけでやっていたものを土岐町全体に広めてやりたい人を募るとか市内に、あるいは市外にも広げるというような方策はあり得ると思いますが、やはり地元の方がどう考えるかということも大きいと思っております。やはり地元の子もたちにやってもらいたいと思うのか、ほかの子どもたちも呼んで継続していきかというのかは、地元の中でも多分いろんなご意見があると思います。継続のためにいろんなところに声をかけたいということであれば、市としてもそのPR、例えば市のSNSやホームページに掲載等できることがあるかと思いますが、まだ詳細な状況の把握、今後の見通し等を地元の方としっかりと共有できていない実情ですので、まずはそこから着手していきたいと考えています。
評価	委員会評価 A

【基本目標5】 学校教育課教育推進係長、学校教育課家庭教育係長、

生涯学習課生涯学習推進係長説明

施策1	連携による家庭の教育力向上
-----	---------------

委員	ブックトークの目標が 50 回とありますが、学校側の依頼によるものではありませんか。
係長	そうです。コロナもあり、やりたくてもできないところもあったと思います。
委員	学校現場にいるときに、お願いして断られたことがなかったので、32 回依頼があって、32 回すべて行ったということだと思うので、A 評価でいいと思います。 このブックトークもそうですが、コミュニティ・スクールが動き出し、学校運営協議会や地域学校協働活動のほう動き出してはいますが、まだまだ実態を見ると、学校が主体になって提案が行われて学校の運営協議会が動いていくような状況の中で、早くその学校運営協議会や地域学校協働活動が主体的に動けるようになることもっと充実していくと思いますが、まだ動き出したばかりで、そうっていない中でよくやっていただけたと思います。
委員	コロナ前はもっとやっていたと思います。学校ごとで何年生と何年生をとということで毎年お願いしていて、総合学習で環境や福祉などをといるときには専門的な書籍を選んでくださり、それを子どもたちがコーナーから取り出して見るなど、効果的でしたし、職員の負担軽減にも寄与していたと思います。コロナでできなくなり、4 月まではまだ 5 類になっていなかったので年間の計画が出来なく、それでも 32 回できたというのは、やってよかったのだなという感じでした。今年度は、もっと増えると思います。ブックトークのよさを知らない若い先生も多いので、宣伝等を行いながら、さらに推進していただきたいと思っています。
評価	委員会評価 A
施策 2	連携による地域の教育力向上
委員	主張大会を聞かせていただくと、大変立派な主張をすべての方がされていますが、小中学生がつくっていますか。
委員	理念の根本は小学生、中学生がつくっています。文章の言い回や話し方等の指導は入っていると思いますが、考え方の基本は子どもたちです。
委員	いつも聞くと心が洗われる感じがして、この頃の小学生はすごいと思って聞きました。多少指導が入っているということですね。
委員	今、コミュニティ・スクールで予算が問題になっています。基本的に瑞浪市の方針としては、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部を一体的に進めようという流れで、最初から関わってきたので知っています。稲津では新しいことはしないで、今のまちづくりの事業等に小・中学生と一緒に参加することによって、コミュニティ・スクールを推進しようという考え方なので、予算的なものを必要としていませんが、他の地区では、地域学校協働本部として、あれこれやりたい地域

	<p>については予算化すべきではないのかなと思います。例えば、北中学校のコミュニティ・スクールの場合、土岐町は新しいことをやりたいからお金を出すが、釜戸や日吉はお金がないから出せないというギャップが出てくると思いますし、既に土岐小はまちづくりの夢交付金から10万円を予算化していると思いますが、稲津としては、夢づくり地域交付金を各事業に割りあてているので、コミュニティ・スクールにあてるお金はありません。今後、新しい事業については予算化を考えていますか。</p>
係長	<p>今後、色々なご意見を伺いながら3課の合同会議等で検討していくということになっています。</p>
委員	<p>無理につけていく必要はありませんが、欲しいところについては何とか予算化してあげてほしいと思っています。</p>
委員	<p>公民館がある地区とない地区がありますが、公民館があるところは、公民館の場所や予算を使っているということですか。</p>
委員	<p>まちづくりのイベント事業に小中学生を参加してもらったり、コミュニティ・スクールでは、学校の先生ではわからない部分を地域の方が助けに行き、田植えを教えたり、城山の歴史を説明したりしているの、会場については考えたことはありません。</p>
委員	<p>人材の面では、土岐地区の場合もまちづくりが中核になって動いますが、金銭的には何もないので、まちづくりからお茶代を頂いています。</p>
委員	<p>夢づくり地域交付金が増額されていない中で、コミュニティ・スクールに予算をつかうとなるとほかのイベントができなくなります。まちづくりとしての事業とは別でコミュニティ・スクールを充実させようと頑張っている地区もあり、必要としている地区には予算化してほしいと思います。</p>
委員	<p>他市では、各学校に100万、200万単位で配っている市や町民から寄付を募って200万円集めた地区もあります。</p>
委員	<p>市役所の仕事は法律に縛られた中で、子育てについてはある程度特化できる部分だと思っています。「瑞浪市はこれだけ子育てに特化しています」というのを出すためにもコミュニティ・スクールをもっと有効的に使っていきべきではないかと思っています。</p>
委員	<p>前期プランの見直しの時に、活動内容や組織の見直しが必要であるとされていますが、そのための取組として何かありましたか。</p>
係長	<p>青少年市民会議は、構成員のスリム化を図りました。</p>
評価	<p>委員会評価 A</p>

3 その他

議長	今後に向けての希望や要望等の意見がありましたらお聞かせください。
委員	基本目標 1 施策 4②いじめの未然防止、早期発見の部分ですが、これからも100%の目標に対して100%の達成率を常に維持していただきたいと思います。
委員	基本目標 1 施策 4③不登校児童生徒の学校復帰の支援について、不登校の児童生徒については、復帰することが前提かもしれませんが、そういった児童生徒の学力低下が懸念されると思うので、そういったところも考えてもらっていると思いますが、そこをお願いしたいと思います。
委員	多様な子どもへの支援を引き続きお願いしたいです。
委員	基本目標 3 施策 4 で、スポーツクラブの把握をお願いしたいと思います。コロナでスポーツ少年団が活動を停止しているときでもクラブは普通に活動していました。違いは何か、子どものことを思ったときにこれでいいのかと疑問に思いました。少なくとも市の施設を利用しているクラブについては、どんなクラブが何人ぐらいで活動しているか、把握できるようにしていただきたい。できれば指導についても助言できるといいと思います。
委員	コロナで学校開放が使えなくなって、公民館はまだ規制されていなかったのに借りにみえた団体がありました。そういった場合に、明確なものがいただきたいです。
委員	スポーツ少年団ごとに勝手勝手にしており、子どもたちのスポーツ教育が、効果を得てないというような印象を受けたので、市全体としてもう1回その再構成をする体制にしてもらえると子どもたちのためにいいのではないかと思います。
議長	全体を通して何かご意見はありますか。
委員	PDC Aでやるためにはどうしても、数値目標化することは欠かせないと思います。設定した目標が明確なものとそうでないものがあり評価を迷いました。数値目標の根拠が明確であれば、迷うことが少ないと思うので、目標の設定が妥当であったかも見て欲しいと思いました。